



青春の フォトスケッチ

高校写真部の生徒が
とらえた心に残る1枚

ほらっ、あーん!

作者のコメント
楽しい雰囲気の写真が撮りたくて、カメラを向けたのはお弁当を食べる友人たち。みんなノリよくポーズを取ってくれました。



宇都宮文星女子高校
松本 紗夜さん

今、輝いている市民

はっらっ宮っこ

みんなで合わせて奏でた音色

石井小学校こと部



7月に広島県で行われた「全国小・中学生箏曲コンクール」で「上昇の彼方」を演奏し、団体の部の1位に当たる金賞に輝いた石井小学校こと部の皆さん。全国大会で12年連続金賞という見事な成績を収めました。部長の福永佳那さんは、「とても緊張したけれど、今年はいみんなを引っ張らなきゃという気持ちと、5年生にも金賞を取らせてあげたいという思いがあった」と話します。

そんな彼女たちにとって、琴の魅力とは、「弾き方・作法は難しいけれど、ほかの人の演奏を聞いて、音を合わせるタイミングで楽しいところ」。日ごろの部活動前後の時間にはみんなで仲良く遊んでいるそうで、これがあるからこそ息がぴったりと合い、好結果につながっています。

これからの目標は「もっと息の合った演奏をすること」。頑張ることを惜しまない気持ち、早くも次の舞台に向かって動き出していきます。

取り組んでいます。大会直前に行く熱のこもった弾き込みは、約5時間も及ぶこともありません。現在は次のコンクールに向けて準備を進めており、石井小の多目的ホールにはきれいな音色が響き渡っています。



1 (前列左から)大窪七海、渡部碧唯、古山夢彩、福永佳那、(後列左から)高橋果歩、和知さとみ、鈴木優子(敬称略)。